

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 85.0%

ねらい：漢字の正しい読みができるかを問う。

分析と対策：漢字を覚えるときには、音読みと訓読み、その送りがなを覚え、漢字の意味とその意味の熟語を合わせて覚えましょう。

2 漢字の書きとり 65.0%

ねらい：漢字の正しい書きができるかを問う。

分析と対策：とめやはね、はらいに注意して、ていねいに書きましょう。部首もあわせて覚えましょう。

3 なかまのことば 91.3%

ねらい：ことばの分類について問う。

分析と対策：「ふゆ」「あき」「はる」ということばは「季節」に分類されますが、「はれ」は「天気」に分類されず。それぞれのことばがどういう意味や性質のことばなのかを考えましょう。

4 反対の意味のことば 68.3%

ねらい：反対の意味をもつことばの組み合わせについて問う。

分析と対策：反対の意味をもつことばは、二つを組にして覚えましょう。また、「ひろい」と「ひろくない」というような、「ない」を用いた反対語を答えたり、「細い」と「大きい」のような、ことばが対応しない反対語を答えたりしないよう気をつけましょう。

5 似た意味のことば 91.7%

ねらい：似た意味をもつことばの組み合わせについて問う。

分析と対策：——線部のことばとおきかえてみて、意味が変わらないものを選びます。「開ける」「開く」のように、

同じ漢字で異なる読み方をするものがあります。その場合は、意味がにていることが多いので、一度漢字に直して考えてみましょう。また、「はなす」のように前後のことばで意味が変わるものもあります。そのことばだけでなく、前後のことばからも判断していく習慣をつけるようにしましょう。

6 物語の読みとり 53.1%

ねらい：場面を正しくつかみ、できごとや理由、気持ちが読み取れるかを問う。

分析と対策：博は、スワロー号をつくる材料としてペットボトルを提案しますが、自分のアイデアに自信のない博は落ちこんでしまいます。しかし、博の提案から、「ぼく」があるアイデアを思いつき、スワロー号をつくる計画が前進したと思い、前向きな気持ちになる物語です。(3)は「ぼく」の気持ちを読みとる問題、(7)は「ぼく」の人物像を読みとる問題です。物語では、登場人物の行動や言葉に注目して読むように心がけましょう。

7 説明文の読みとり 27.8%

ねらい：文脈を理解し、話の内容を的確に読みとれるかを問う。

分析と対策：アデリーペンギンを例にとりながら、ペンギンのすんでいる所や子育てのしかたについて書かれた説明文です。(3)(4)はペンギンの特ちょうを書く問題です。(8)はペンギンの生態についての内容一致の問題です。一つひとつ本文と照らし合わせ、正確に読みとりましょう。

全体の平均点は54.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。